

2025 年 5 月 21 日

各 位

霞ヶ浦医療センター整備促進、
及び建て替えを考える会
会長：安藤 治雄
事務局：廣瀬 房男

霞ヶ浦医療センター地域だより：号外第Ⅲ号発行にあたり
ー発行の趣旨と現在の活動についてー

向暑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は、本会の活動にご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。改めて御礼申し上げます。

さて、本考える会の活動も 2023 年の設立から 3 年目を迎えました。機関紙の発行も第一号、第二号と行い、今回は号外Ⅲ号の発行となりました。

霞ヶ浦医療センターの改修も本年 9 月ごろより、外装・駐車場等大きく進捗していく予定です。本号ではその他の予定も含め、皆さまに事前のお知らせの意味もあり、特別に発行することにいたしました。

霞ヶ浦医療センターもその前身の海軍病院からは 80 年を超え、その建物は古く老朽化が激しくなっています。通路や病室も暗く、雨漏りがしているところもあります。入り口の駐車場も非常に使いにくくなっています。外来として利用する私たちですが、医療センターで日々活動する方全員がその改修・早期の建て替えを望んでいます。

このような中、地元の私たちもその整備促進について、積極的に発信し、地元の総意として国はじめ、土浦市にも強力に伝えていくべきではないかとの想いから本会を立ち上げました。医療センターの地元である土浦市地区長連合会桜南ブロックからその活動をスタートしました。その設立が 2023 年 6 月でした。創刊号では、その趣旨、会則、今後の目標等設立総会の模様を掲載しました。第二号では一年間の活動についてのご報告を中心に記載させて頂きました。医療センターの鈴木院長からも寄稿頂きました。

特に2024年2月には、全国170余りの旧国立病院の本部である、国立病院機構への直接の陳情も実現できました。事務局廣瀬も、国光顧問・鈴木院長・土浦市保険福祉部長に帯同し、国立病院機構本部理事長に直接会の趣旨書や要望書をお渡しすることが出来ました。その様子も第二号に掲載しました。

本号外Ⅲ号では、現在予定されている「具体的な改修計画」等について掲載しました。外来棟の外装の改修や駐車場付近の改修についてその具体的なイメージを掲載しました。更に、広大な敷地の今後の利活用の方向性や今後の機材の更新予定も掲載しました。同時に各地で開催した「医療センターを考える集い」の様子も紹介しました。是非、皆さまにご覧いただければと思います。

本会では今後ともその活動を強化し、全市的な活動に拡大し、更なる改修と同時に、早期の建替え実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。霞ヶ浦医療センターの今後のみならず、地域医療全体を含め皆さまと一緒に考えて行ければと思っています。是非、皆さまのご理解・ご協力を頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。

尚、本号外Ⅲ号を町内回覧等頂き、地域の皆さまへの周知を頂ければ幸いです。お入り用の部数をお届けできますので、お申し付けください。

更に、各地域での「考える集い」の開催も可能です。お問い合わせをお待ちしております。

以上、よろしくお願い致します。

(文責：廣瀬 房男)

事務局担当：廣瀬 房男（小松一二三丁目町会）

住 所：土浦市小松 3-5-43

電 話 番 号：090-4739-2463